

北海道自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会
編集兼発行人 辻 澤 英 隆
札幌市東区北三ノ条一丁目(郵便番号065-0800)
電話 (011)721-4578



迎春

当別町高岡のみまわり畑



新年のご挨拶

北海道自家用自動車協会連合会
会長 松浦良一

新年、明けましておめでとうございます。2025年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族とともに迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。
平素は、北海道自家用自動車協会連合会(以下、当連合会)に対しまして、深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、昨年の日本経済は、新型コロナからの回復が進み、賃上げや公共投資による下支えの期待から経済活動が徐々に正常化してきたところですが、物価上昇や少子高齢化・労働力人口の減少が要因となって、経済成長は低水準なものとなりました。世界経済は、引き続き高インフレや地政学的なリスクに直面していることもあり、2025年は、国内外ともに経済構造の変化や政策対応が試される1年となりそうです。
自動車の保有台数については、令和6年10月末現在、全国で約8257万台、道内では約374万台を数えています。今や自動車は、経済・産業のみならず、日常生活において、あらゆるところで利用される必要不可欠なものとなっています。その反面、地球環境に大きな影響を与える排気ガスや騒音等の公害問題、さらには痛ましい交通事故の多発が大きな社会問題となっています。
道内における令和6年10月末現在の交通事故発生状況ですが、関係機関・団体等の皆様の交通安全への取り組みや懸命な努力により、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少しています。しかしながら、交通事故により、多くの尊い命が犠牲になっていることは、誠に痛ましいものがあります。
当連合会としましては、交通事故防止対策を最重要な使命ととらえ、道民・会員に対する安全啓発材の配布、優良運転者の表彰、街頭啓発、交通安全旗の配布、ラジオを通じての広報活動、北海道自家用新聞の刊行等、特に、冬期間の事故多発に対する「冬期交通事故防止キャンペーン」を実施する等、全力で取り組みを進め、本年も引き続き継続してまいります。
自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に行ってまいります。
また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーザーの皆様にご協力をお願いする周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。
観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナンバープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域の中で、「苫小牧」・「知床」の2地域が交付開始されました。
全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和6年11月時点で、「花柄ナンバー」は、全国で約97万7千件、北海道では約3万7千件、「大阪」・関西万博「ナンバー」は、全国で約13万9千件、北海道では約3千5百件の申込状況となっています。また、本年は、新たな追加地域として「十勝」や「2027国際園芸博覧会記念ナンバープレート」の交付が予定されています。
このほか、全国的な課題として、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割税額確認の簡素化、(2)自動車諸税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止、若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望しています。
今後とも、当連合会の運営に對し、皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。
終わりに、皆様のお喜びの健康勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

道内における令和6年10月末現在の交通事故発生状況ですが、関係機関・団体等の皆様の交通安全への取り組みや懸命な努力により、発生件数、死者数、負傷者数ともに減少しています。
「花柄ナンバー」は、全国で約97万7千件、北海道では約3万7千件、「大阪」・関西万博「ナンバー」は、全国で約13万9千件、北海道では約3千5百件の申込状況となっています。また、本年は、新たな追加地域として「十勝」や「2027国際園芸博覧会記念ナンバープレート」の交付が予定されています。
このほか、全国的な課題として、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割税額確認の簡素化、(2)自動車諸税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止、若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望しています。
今後とも、当連合会の運営に對し、皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。
終わりに、皆様のお喜びの健康勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。





# 年頭の辞

## 北海道運輸局

### 局長 井上 健二

新年明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んで挨拶を申し上げます。「北海道を元気に」、そして「北海道から日本を元気に」との想いで、本年も、全力で北海道の運輸・観光行政を推進してまいります。新型コロナウイルスの5類移行から約一年半が経過し、コロナ禍からの脱却、経済社会活動の平常化に加え、訪日インバウンド客数も過去最高を記録するなど、「自動車」発の動きも見られます。「自動車」は、国民生活において欠かすことのできない移動・輸送手段であり、地域の暮らしや経済活動を支える自動車運送事業者をはじめとした関係者に求められる役割は、益々大きくな

ついでと認識しております。一方で、燃料費の高騰、「物流2024年問題」への対応、深刻化するドライバー不足や交通空白の解消といった諸課題に直面し、厳しい環境の中、皆様には、安全・安心の確保をはじめ、北海道運輸局が進める行政に対し、ご理解とご協力を頂いております。深く感謝を申し上げます。

また、「自動車点検整備推進運動」や「不正改造車排除運動」を通じて、自動車の安全性や環境性能の維持に資する点検整備の必要性の啓発と不正改造車排除の働きかけを強化するとともに、「可搬式ナンバー自動読取装置」を使用した街頭検査により、引き続き、無車検車の排除に努めてまいります。また、利便性の向上に向けては、自動車検査証の電子化や特定記録等事務委託制度により一部の手続で運輸支局への出頭が不要となっております。このような機能を最大限にご活用いただくため、「自動車保有関連手続のワンストップサービス(OSS)」の普及の促進に努めてまいります。

また、走る広告塔として地域の魅力



# 年頭の辞

## 北海道環境生活部

### 部長 加納 孝之

新年明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んで、ご挨拶を申し上げます。

松浦会長をはじめ、北海道自家用自動車協会連合会会員の皆様には、日頃から交通安全対策の推進に多大なるご理解とご協力をいただいております。ことに、厚く御礼申し上げます。

さて、貴連合会をはじめ関係機関や団体の皆様、道民の皆様方の長年にわたる交通安全の取組により、交通事故死者数は昭和46年の889人をピークに、平成25年以降100人

学途中の児童が被害に遭う交通事故死亡事故が発生するなど、依然として多くの方が痛ましい交通事故の犠牲となっており、改めて交通安全運動にしっかりと取り組んでいく必要があると考えています。

また、昨年は、平成26年に小樽市において発生した飲酒運転によるひき逃げ事故から10年となる年であり、関係機関、団体とともに、飲酒運転根絶に向け、各種啓発活動などを推進してまいりましたが、9月に小樽市において飲酒運転による交通死亡事故が発生するなど、飲酒運転による悲惨な交通事故は未だに後を絶たない状況です。

プラン2025」において策定された飲酒運転ゼロ等の事故削減目標の達成に向け官民一体となって取組を進めるとともに、重大事故の惹起が懸念される大型車のタイヤ脱落事故に対し、警察等とも連携し、確実なタイヤ脱着作業や保守管理の実施の呼びかけを広く行うなど、事故防止のための取組を進めてまいります。

皆様におかれましては、今後とも地域の交通安全運動に積極的にご参加いただきますとともに、本道の交

交通安全のない安全で安心な社会の実現は全ての道民の願いです。道といたしましては、歩行者保護を基本に安全な交通環境を創出する「ハンドサインでストップ運動」の取組等を推進するとともに、飲酒運転根絶に向けて、今後も「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」を合言葉に、飲酒運転を絶対に見逃さないという「社会の目を道内の隅々まで広げるなど、交通安全のない北海道を目指して、交通安全運動の推進方針に基づき、関係機関・団体の皆様のご協力の下、道民総ぐるみの交通安全運動を展開し、交通事故の犠牲者を一人でも減少させるよう粘り強く取り組んでまいります。

交通安全の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、貴連合会並びに会員の皆様方の益々のご発展とご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



力を発信する地方版図柄入りナンバープレートについては「知床」と「苫小牧」に加え、新たに「十勝」の交付を予定しており、令和7年5月頃の交付開始を目指して準備を進めてまいります。観光をはじめ地域の振興につながるよう、関係自治体と協力し、その普及促進に取り組んでまいります。

これからも、北海道運輸局職員一丸となって、安全・安心の運輸・観光行政の徹底とその推進に努めてまいります。北海道の益々の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 令和七年 謹賀新年

**北海道自動車共済協同組合**

理事長 松 浦 良 一  
 副理事長 吉 田 裕 昭  
 副理事長 徳 井 裕 昭  
 専務理事 辻 澤 英 隆

☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2 (721)5233

**北海道自動車標板協議会**

会長 松 浦 良 一  
 副会長 吉 田 裕 昭  
 副会長 小 藤 田 良 彦  
 専務理事 辻 澤 英 隆

☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578

**北海道自家用自動車協会連合会**

会長 松 浦 良 一  
 副会長 吉 田 裕 昭  
 副会長 徳 井 裕 昭  
 専務理事 辻 澤 英 隆

☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578

(一社) ☎070-0902  
**旭川市春光町一〇**  
 旭川市春光町一〇  
 電話(〇一六六)五一二二二  
 専務理事 山 田 優 裕

(一社) ☎090-0836  
**北見地区自家用自動車協会**  
 北見市東三輪三二二五  
 電話(〇一五七)二四一六二七  
 専務理事 阿 知 良 雄 二

(一社) ☎084-0906  
**釧路市鳥取大通六二二五**  
 釧路市鳥取大通六二二五  
 電話(〇一五四)五一三二二五  
 専務理事 池 本 裕 祥

(一社) ☎080-2459  
**帯広地区自家用自動車協会**  
 帯広市西十九北一八〇三  
 電話(〇一五五)三三三三〇〇  
 専務理事 柴 田 信 幸

☎050-0081  
**室蘭地区自家用自動車協会**  
 室蘭市日の出町三二四一  
 電話(〇一四三)四四一五六二  
 専務理事 岩 崎 剛 忠

(一社) ☎041-0824  
**函館地区自家用自動車協会**  
 函館市西桔梗町五五五  
 電話(〇一三八)四九一六三七  
 専務理事 齋 藤 利 雄

(一社) ☎065-0030  
**札幌地区自家用自動車協会**  
 札幌市東区北三十条東一  
 電話(〇一一)七二一八二〇三  
 専務理事 辻 澤 英 隆

# ペダル踏み間違い時 加速抑制装置 国連基準化

## 25年6月義務化へ

国土交通省は、国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)で「ペダル踏み間違い時加速抑制装置(ACPE)」が国連基準化されたと発表した。2022年から日本が基準策定に向けた議論を主導しており、日本発の技術が世界標準として認められた格好だ。今回のWP29では、2025年の役員選挙も行われ、23年から本会議の副議長を務めている国土交通省の猶野喬物流・自動車局車両基準・国際課安全基準室長が再選された。

ACPE基準案は、例えば、急発進抑制に関する要件を「障害物の手前1メートルおよび1.5メートルに停止状態でアクセルをフルストロークまで踏み込んだ場合に障害物に衝突しないこと」や「障害物との衝突時の速度が時速8キロメートルを超えず、障害物がない状態に比べて30%以上、速度が低下していること」と規定した。自動変速機(AT)を備えた乗用車(乗車定員9人以下)が対象だ。

高年齢ドライバーらによる誤操作事故の頻発を踏まえ、日本は22年にACPEの国連基準策定をWP29加盟国に提案し、技術要件や評価方法、各種データなどの提供とともに、基準策定を主導してきた。

# 国交省 交通空白の解消へ プラットフォーム立ち上げ

## プラットフォーム立ち上げ

国土交通省は、移動手段の確保が難しい「交通空白」の課題解決を目指す「交通空白」解消・官民連携プラットフォームを立ち上げた。自治体、交通事業者をはじめ商業・農業・教育・介護などさまざまな分野の企業・団体に携わって連携・協働を促し、実証事業を後押しするのが狙い。同時にモビリティを通じた全国各地の「共同モデル」を展開し、産学官一体で公共交通と地域経済の活性化につなげることを目指す。

同プラットフォームには、11月25日時点で自治体や交通事業者など計167者が参加。自動車関連以外ではIT(情報技術)・デジタル、エネルギー、商業・農業・金融・保険・福祉・教育・観光などの企業・団体が名を連ねる。地域交通問題に詳しい有識者や複数の関連省庁も参加する。国交省

で行われた初会合で中野洋昌国交相は「地域の足の確保は非常に切実な課題。一過性ではなく、持続的な取り組みを後押ししたい」と新組織の狙いを述べた。

同プラットフォームでは、交通空白の課題解決に向けて①自治体・交通事業者・企業・団体のマッチングを推進②実証事業の展開③好事例の情報共有やセミナー開催を3本柱に活動を進める方針。これらを通して、人口減少や少子高齢化を背景に運転手などの担い手不足に悩む自治体や交通事業者と、課題解決を支援する技術・サービス・人材を持つ企業などとの連携・協働および実証事業の展開を後押しする。

幅広い分野の企業・団体の参画によって、異業種連携による付加価値創出も期待している。過疎地域の実

日本は、欧州以外の国で初となるWP29の副議長を23年から務めている。今回の再選により、猶野氏は3期連続で副議長を務めることになる。WP29ではこのほか、地球温暖化対策などの環境対策を担当する会議体(GRPE)の副議長を交通安全環境研究所の新冠哲也環境研究部長が務めることも合意された。



ペダル踏み間違い時加速抑制装置は各地で体験会が行われており、普及活動が行われている。

証事業では、商品配達車を非稼働時に「路線バス化」して人を輸送したり、貨客混載、共同配送などを想定している。

プラットフォーム会員は2025年1月24日まで公募し、さらなる参加者拡大を目指す。同年2月もしくは3月に予定する第2回総会では、交通空白解消に向けたマッチング商談会や活動事例発表を行う考え。実証事業は同年4月から展開を計画する。

「移動の足」や「観光の足」の不足といった公共交通の課題は、過疎地の地方だけではなく都市部でも深刻化しつつある。抱える課題や事情も地域によって異なる。国交省は今夏、陸海空の各局や地方運輸局で構成する「交通空白解消本部」を設置するなど取り組みを進めている。地域交通は地方創生の基盤との考えのもと、関係省庁と連携して交通空白の解消に伴走型で支援する。

### 令和6年飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール受賞作品決定

道内各地の高校生から寄せられた658通のメッセージから、厳選審査の結果、最優秀賞(北海道知事賞)1作品、優秀賞(北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞)3作品などが決定しました。

同コンクールを毎年実施している北海道交通安全推進委員会では、高校生の願いを受け止め、このメッセージを活用しながら、「北海道からみんなで飲酒運転を根絶しましょう」と呼びかけています。

#### 北海道知事賞

その1杯を飲む前に、思い出して 大切な人の笑顔。  
その1杯が人生を変えてしまうかもしれない。  
その1杯が1つの命を奪うかもしれない。  
変えてはいけぬ大事な人生。守らなくてはならない大切な笑顔。  
絶対にやってはいけない飲酒運転  
(北海道日高高等学校1年 吉村紗和さん)



### 除雪車を自動追従する標識車の走行デモ公開

#### ネクスコ東日本・いすゞ自動車

NEXC O東日本といすゞ自動車は、除雪車の後方を自動追従する標識車の走行デモを公開した。今後は高速道路上での試験走行を計画しており、数年後の実用化を目指して開発を進める。除雪作業の省人化や効率化を図り、将来的な労働人口の減少に対応していく狙いだ。

公開した車両は、従来の標識車にライダー、リーダー、GPSなどの各種センサーやカメラを搭載したもので、車両の周辺に落下した雪塊などを検知できるようにするとともに、前方を走行する除雪車とも通信を行い、位置情報や車間距離などを測定しながら走行する。

走行デモでは、先行する除雪車との車間距離を計測しながら、走行と停止を繰り返す自動追従を披露した。自動走行の実現により、標識車の作業員数を2人から1人にすることを目指している。

人材不足や熟練作業者の高齢化、長時間労働の規制などによる除雪作業員の減少が懸念される中、同社では「雪水対策高度化システム(AS NOS)」の研究開発を進めている。2023年にはロータリー除雪車の自動運転化に成功し、運用を開始。さらなる作業効率化を目指し、21年から標識車の自動走行の開発に着手した。



## 「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠責共済

### 全道に安心のサービス拠点

#### 1事故1担当者制

1つの事故に対して1人の専任担当者が担当

#### 充実のロードサービス

24時間365日対応・等級に影響なし

#### 安心の事故対応力

事故解決の専門家が素早く対応



あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!  
**北海道自動車共済協同組合**  
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2



☎011-721-5233  
電話の受付時間 平日9:00~17:15

FAX:011-721-0801  
https://www.hokujikyo.jp

新しい技術と信用のトップメーカー

## 自動車ナンバープレート

# 小松自動車工業株式会社

札幌営業所 札幌市東区北30条東1丁目1-1  
及工場 〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社 東京都品川区東品川4丁目8番12号  
及工場 〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

# 釧路



## 年頭の辞

北海道運輸局釧路運輸支局

支局長 山北 睦巳



新年明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

一般社団法人釧根自動車協会並びに会員の皆様には、日頃より、自動車・交通・運輸行政に対しまして、特段のご理解ご協力をいたしておりますこと、厚くお礼申し上げます。

自動車・交通・運輸等を取巻く環境は、超高齢化社会が引き起こす労働者不足等の「2025年問題」、昨年からの引き続く「2024年問題」により今後も厳しい状況が続くと予想されております。



## 年頭の御挨拶

北海道警察釧路方面本部

本部長 堂前 康

新年、明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶申し上げます。

一般社団法人釧根自動車協会及び会員の皆様におかれましては、日頃から交通安全活動を始めたとして警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

また、貴協会におかれましては、各期の交通安全運動における啓発活動のほか、サイクルセーフティラリー946(くしろ)の協賛等、各種交通事故抑止活動に献身的に取り組んでいただいておりますこと、重

が、釧根地域においても運転者の高齢化やなり手不足を一因として、バス路線廃止、タクシー車両減少等の状況が続いております。今後もより一層、自治体・バス会社・タクシー会社と連携しつつ、地域の足確保、交通空白解消に向けた取組を進めてまいります。

自動車の安全確保や公害防止等の対策について、皆様と御協力を頂きながら「自動車点検整備推進運動」や「不正改造車を排除する運動」を推進してまいります。

近年、タイヤ交換時期の車輪脱落事故が増加する傾向にあることを踏まえ、自動車ユーザーの保守管理意識を高め、適切な点検整備の推進を図ってまいります。

課題は様々ございますが、本年も安全・安心な暮らしの実現、利用者利便の向上、地域に密着した交通・運輸施策の展開に努めてまいりますので、皆様より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も貴協会並びに会員の皆様にとり、良い1年でありましたことを心から祈念申し上げ、年頭の辞とさせていただきます。

この運動は、歩行者の方には、横断歩道を渡る意思表示と停止した車への感謝の気持ち、ドライバーの方には、横断歩道前で停止して歩行者へ「お先にどうぞ」の合図を、それぞれハンドサインで示していただき、相互の思いやりで横断歩道における歩行者事故の防止を図るものであります。

「交通事故のない安全で安心な社会」は、ドライバーはもとより、歩行者や自転車等、道路を利用する全ての方がルールやマナーを守り、相互の思いやりを持って行動することが重要であります。

貴協会におかれましては、釧根地区における各事業所等の指導的役割を担われており、交通事故抑止の各



## 新年のご挨拶

一般社団法人 釧根自動車協会

会長 近藤 伸也

皆様、明けましておめでとうございます。令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様ともどもご健勝にて爽やかな新年を迎えられたこと存じます。

昨年中は、当協会の事業運営に何かと協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日における能登半島地震、列島全土を襲った摂氏40度近い猛暑の夏、引き続き襲来した記録的な豪雨と、自然の猛威を改めて認識させられる年となりました。

高が続き年でもありました。天災や戦禍で犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げますと共に、厳しい経済状況の中、社会を支える事業活動に、日々の仕事に勤しむ方々に、深く感謝申し上げます。

昨年の自動車事情を振り返りますと、燃料高を背景にハイブリッド車の人気世界的に高まる年となりました。

種活動に御理解をいただきまして、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

自動車メーカーの皆様が技術を研鑽してこられた賜物と思えます。

車検制度を振り返りますと、昨年は1月4日に車検情報ICタグに記録する電子車検証が軽自動車においてもスタートし、また、10月1日には自動運転技術等の電子装置に搭載された自己診断機能である車載式故障診断装置(OBD)による診断が車検の検査項目に追加され、電子化と情報化が進みます進展する年となりました。

最後にになりましたが、新しい年の1年間、会員の皆様方及びご家族様のご健勝とご多幸と、それぞれの事業のますます発展とを、心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

## 一般社団法人 釧根自動車協会

会長	近 濱
副会長	香 川
専務理事	赤 坂
理事	池 本
理事	川 村
理事	森 江
理事	青 木
理事	高 橋
理事	日 野
理事	安 藤
理事	土 井
理事	岩 村
監事	濱 俊
監事	廣 明
監事	眞 枝
監事	美 子
監事	裕 一
監事	修 之
監事	洋 次
監事	健 人
監事	成 次
監事	純 博
監事	茂 史
監事	人 人





**根室自動車整備事業協同組合**

代表理事 野 濁 龍 彦  
 副理事長 齊 藤 俊 朗  
 事務局長 高 橋 隆 一

〒087-0037 根室市穂香九八番地  
 電話 (0)153-2316 4303  
 FAX (0)153-2316 4333

**株式会社 まつばら**

代表取締役 松 原 宏 樹

〒082-0030 河西郡芽室町本通二丁目十九  
 電話 (0)155-6211 2130  
 FAX (0)155-6211 3130

**一般社団法人 日本自動車連盟釧路支部**

支部長 坂 根 篤

〒084-0906 釧路市鳥取大通八丁目二番十一号  
 電話 (0)154-5112 167

**中標津地方自動車整備事業協同組合**

代表理事 長 淵 誠  
 副理事長 松 實 秀 樹  
 局長 一 色 政 夫

〒061-0033 標津郡中標津町東二十二条南一丁目一番地  
 電話 (0)153-7211 2744  
 FAX (0)153-7211 3033

**ワールドオートプレート株式会社**  
 WORLD AUTO PLATE Co., Ltd.

光るナンバープレート®のパイオニア  
 ワールドオートプレート



品川399  
88-88

QRコード  
 ホームページはこちらから

**三ツ輪物流株式会社**

代表取締役社長 日 野 涉

〒084-0913 釧路市星が浦南四丁目一番一〇号  
 電話 (0)154-5110 235

**株式会社三ツ輪商会**  
 (企画事業本部情報事業部)

〒084-0905 釧路市鳥取南五丁目二番五号  
 電話 (0)154-6115 160

**一般財団法人 北海道陸運協会 釧路支部**

支部長 池 本 裕 祥

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号  
 電話 (0)154-5112 384  
 (釧根自動車協会内)

急がない 忘れない  
**S S** 『ストップ・ザ・交通事故死』  
 SPEED DOWN SEAT BELT

**釧路市交通安全指導員会**

〒085-0018 釧路市役所市民生活課生活安全担当  
 電話 (0)154-2315 51代

会長 一ノ戸 昇  
 副会長 高 橋 勲  
 鎌 田 政 雄  
 監 事 竹 内 享 二  
 平 間 靖 章

**株式会社 イーライフ**  
 電話 (0)154-3814 866

**山 田 車 輛**  
 電話 (0)154-4012 187

**株式会社 北海道ジャパンサポート**  
 電話 (0)154-3811 511

**全建総連釧路建設ユニオン**  
 電話 (0)154-2517 585

**有限会社 今井総合保険システム**  
 電話 (0)154-8212 626

**阿寒自動車工業株式会社**  
 電話 (0)154-6613 922

**根室自動車整備事業協同組合**  
 電話 (0)153-2316 4303

**北海道自動車共済協同組合**  
 本部 札幌市東区北三十条東一丁目三番二号  
 電話 (0)11-7211 5233

**北海道自動車共済協同組合釧路支所**  
 電話 (0)154-5117 900

**NASVA**

独立行政法人  
**自動車事故対策機構**  
 釧路支所

支所長 佐 伯 勝 幸

〒085-0008 釧路市黒金町七丁目四番地一  
 太平洋興発ビル二階  
 電話 (0)154-3317 021

首席運輸企画専門官 (船舶・船員担当) 越 前 智 規  
 首席運輸企画専門官 (運輸・船員担当) 山 本 貴 雄  
 首席陸運技術専門官 (検査整備保安担当) 佐 々 木 俊 智  
 首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当) 松 田 順 一

首席海事技術専門官 (船舶検査官) 松 村 和 俊

首席運輸企画専門官 (運輸・船員担当) 山 田 元 洋

**北海道運輸局釧路運輸支局**

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目二番十三号  
 電話 (0)154-5112 5222  
 FAX (0)154-5110 2224

支 局 長 山 北 睦 巳  
 新 堂 聡 史  
 松 田 順 一  
 佐 々 木 俊 智  
 山 本 貴 雄  
 越 前 智 規  
 山 田 元 洋  
 松 村 和 俊